



生活・安全

安全で安心なまちを目指して

飼い主の義務とマナー向上を

◆犬の飼い主の皆さんへ

フンの後片付けをしましょう
雪解けとともにフンの不始末による苦情が多数寄せられています。飼い犬を散歩させる際は、必ずフンの片付けができる道具を持参し、後片付けをしましょう。

◆畜犬登録をしましょう

室内・室外犬を問わず、生後90日を経過した犬の飼い主は町へ登録する義務があります。登録をされていない飼い主の方は、役場窓口で必ず登録を行いまししょう。

狂犬病予防注射を受けましょう
飼い主には、毎年1回必ず狂犬病予防注射を受けさせる義務があります。かかりつけの病院で注射を受けた場合は、役場窓口にて注射済の証明書を提出してください。

犬の放し飼いはやめましょう。
町の条例では犬のけい留（綱）などでつなぎ止めておくことが義務付けられています。散歩や外出させるときは必ず2メートル以内のリード（引き綱）を付けましょう。

【問い合わせ】
町住民保健課
生活安全グループ
☎ 73-7510

◆猫の飼い主の皆さんへ

室内で飼育しましょう
猫を屋外で飼うことは、近隣への迷惑になるだけでなく、交通事故や猫同士のケガなど猫自身の危険も多くなります。

上下に運動できる高さの空間があれば、屋内でも十分に飼育できます。

◆不妊去勢手術をしましょう

猫は繁殖力が高く、一回の妊娠で平均5頭の子猫を出産します。繁殖を望まない場合は、数が増えすぎて飼育できない状況にならないように不妊去勢手術をしましょう。



ごみ分別への協力をお願いします

生木類の出し方 (町指定袋に入らない場合など)

【問い合わせ】
町環境政策課
環境政策グループ
☎ 73-7511

町の指定袋に入らない生木類（剪定枝、根など）は、町内業者に処理をお願いしていますので、電話連絡のうえ、直接自己搬入されますようお願いいたします。自己搬入が困難な方は町の粗大ごみで申し込み願います。

◆搬入可能物

生木類（剪定枝、根など）
※土はできるだけ落として搬入願います。

◆受入曜日

月・金曜日
※土・日・祝日は受け入れできません。

◆受入時間

○5～12月
午前8時～午後5時
○1～2月
午前9時～午後4時50分

○3～4月
午前8時～午後4時50分
※正午から午後1時の間は搬入ができません。

◆処理料金（消費税別途）

剪定枝（10kg）50円
根（10kg）70円

◆搬入先・問い合わせ

共立道路株式会社
(製品部) ☎ 772111

ごみ処理見学会開催

町では、実際にごみの処理施設を見学していただき、「ごみ問題」を皆さんとともに考え、ごみ分別などに対する理解を深める機会になればと考えています。

◆日時

5月24日(金) 午前9時～正午

時間	内容
9:00	(継立) 南部公民館出発
9:15	(角田) 農村環境改善センター出発
9:25	総合福祉センター「しゃるる」出発
9:30	役場出発
9:35	カルチャープラザ「Eki」出発
9:45	資源リサイクルセンター見学
10:30	環境センター（堆肥化施設・中間処理施設・最終処分場）見学
11:30	終了

◆日程 下記のとおり
◆定員 50人
◆申込方法
町環境政策課へ電話予約
◆申込期間 5月7日(火)～17日(金)
※移動は町の大型バスを予定しています。
※定員になり次第締め切ります。
※参加者全員に粗品をプレゼントします。

堆肥 クリビット 「栗肥土」販売中！



栗肥土は、役場・農村環境改善センター・南部公民館で随時販売しています。ぜひ、ご活用ください。
【価格】
1袋 (10kg) 300円



ごみ処理場見学会（昨年）のようす

まちを好きになるアプリ



自治体がもっと身近になる機能が盛りだくさん！

1 役立つ行政情報を見逃さない！

ニュース 広報紙

2 自分に合わせた情報が届く！

イベント 仕事 福祉 子ども 健康 環境

3 いろいろなまちの魅力をお届け！

グルメ 観光 文化

ダウンロードはこちらから

App Store からダウンロード

Google Play へダウンロード



※アプリの使用は無料ですが、通信費は回線ごとのご負担となります。
※広告が表示されますが、各自治体とは何ら関係ありません。

【マチイロに関する問い合わせ】株式会社ホープ ☎ 092-716-1404



行政情報アプリ「マチイロ」で「広報くりやま」が見られます！



元気が一番

保健のお知らせ

【問い合わせ】
町住民保健課
健康推進
グループ
☎ 73-2256

働き盛りの男性の皆さん 風しん抗体検査を受けましょう

昨年夏ごろより、風しんの流行がみられます。その患者の中心は働き盛りの男性であること、また、男性の中でも過去に風しんの予防接種を受ける機会がなかった世代であり、抗体保有率を見ても、女性や他の世代の男性（乳幼児を除く）が約90%であるのに対し、該当世代の男性は約80%と低くなっていることがわかりました。

そこで、国は緊急的な風しん追加対策として、表1の男性を対象に、風しん抗体検査および風しん予防接種を無料で受けられることとなりました。

※抗体保有率は、国立感染症研究所「年齢／年齢群別の風疹抗体保有状況」2013～2017の出版です。

風しん抗体検査と予防接種の無料クーポン券を送ります

風しん追加対策は3年間に実施期間を限定して行います。

1年目の平成31年度は、昭和47年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性から、風しん抗体検査および予防接種を無料で受けられるクーポン券をお送りします。

クーポン券を受け取った方は、まずは風しん抗体検査を受けて、ご自身の抗体保有の状況を確認しましょう。

※平成31年度に案内文が届かない方でも、検査を受けることができますので、住民保健課健康推進グループまでご連絡ください。

くりやま健康マイレージ参加賞のお知らせ

平成30年度のくりやま健康マイレージのポイント交換は、平成31年4月30日で終了しました。

平成30年度に交換できなかったポイントカードをお持ちの方に、先着（200人）でプレゼントをご用意しています。

希望される方は、ポイントが押してあるカードを持って、健康つ

表1 風しん抗体検査・風しん予防接種の対象と受け方

	対象者	受け方と留意点
抗体検査	昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性 ※次に該当する方でも希望があれば検査を受けられます。 ①過去に風しん抗体検査を受け陽性であった方 ②過去に風しんの予防接種を受けた方 ③過去に風しんに罹患したことがある方	①職場健診や特定健診と同時に受ける ②医療機関を受診して受ける 《留意点》 ○検査当日に無料クーポン券を提出し、本人確認ができるもの（例：運転免許証、マイナンバーカードなど）を必ず持参してください。 ○検査受診希望を事前に申し込みをしてください。
予防接種	昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性で、風しん抗体検査の結果が陰性だった方	医療機関に、事前に申込みをしてから予防接種を受けて下さい。 《留意点》 ○無料クーポン券は接種当日、忘れずに持参し医療機関に提出してください。 ○接種当日は抗体検査結果と本人確認ができるものを必ず持参してください。

※風しん抗体検査・予防接種を受けられる医療機関等リストは厚生労働省ホームページ（風しんの追加対策）に掲載されていますので、ご参照ください。



健康マイレージ対象事業はこのイラストが目印です。

くりやま健康マイレージにどうすれば参加できますか？
4月下旬から、各地区の健康づくり推進員より健康マイレージの案内を回覧で周知します。参加申込書は、健康づくり推進協議会事務局窓口や、健診会場、研修会などの会場に用意しています。参加申込書の提出と引き換えに、ポイントカードをお渡しします。

対象事業の案内には、左記のイラストがついています。健康づくり推進協議会からの回覧や広報でチェックしてください。



保健福祉のコラム

永山歯科医院 院長

永山 裕



日本歯科医師会啓発活動

オーラルフレイル

今月はオーラルフレイルです。フレイルは3月号のコラムで栗山赤十字病院の真井睦子管理栄養士が詳細に書いています。3月号と合わせて読むとわかりやすいと思います。

「オーラルフレイル」という新たな考え方の理解

「オーラルフレイル」は、口腔機能の軽微な低下や食の偏りなどを含み、身体の衰え（フレイル）の一つです。これらの概念は東京大学高齢社会総合研究機構の辻哲夫特任教授、飯島勝矢教授らによる大規模健康調査（縦断追跡コホート研究）などの厚生労働科学研究によって示され、この研究をきっかけにさまざまな検討が進められています。この「オーラルフレイル」とは、健康と機能障害との中間にあり、可逆的であることが大きな特徴の一つです。つま

「オーラルフレイル」への対応

高齢期における人とのつながりや生活の広がり、共食といった社会性を維持することは、多肢にわたる健康分野に関与することが明らかとなっています。この多肢にわたる健康分野には歯や口腔機能の健康も含まれており、これら機能の低下はフレイルとも関連が強いことがわかっています。歯周病やむし歯などで歯を失った際には適切な処置を受けることはもちろん、定期的に歯や口の健康状態を

かかりつけの歯科医師に診てもらうことが非常に重要です。また、地域で開催される介護予防事業など、さまざまな口腔機能向上のための教室やセミナーなどを活用することも効果的です。

「8020運動」と「オーラルフレイル」の関連

厚生労働省と日本歯科医師会が平成元年から展開している「8020運動」は、80歳で20本以上の歯を保ち、何でもかんで食べられることを目指して推進してきています。当初、わが国の8020運動達成者はほんの数%であったものが、現在では40%を超えるほどになっています。日本歯科医師会は、この「8020運動」に代表される国民運動をさらに発展させるべく、東京大学高齢社会総合研究機構やさまざまな関係者の協力のもと、「オーラルフレイル」という新たな考え方を加え健康長寿をサポートするべく、発信・啓発していきます。

「オーラルフレイル」の展望

「オーラルフレイル」の考え方や調査研究は現在進行形で進んでいるところであり、新たな知見やエビデンスの追加が今後さらに必要になってきます。また、急増する高齢者への現場での対応を含めて、日本歯科医師会会員が今後さらに研修および日常の臨床へと努力していくこととなります。



オーラルフレイルを理解して、健康長寿を目指しましょう

「オーラルフレイル」は滑舌低下、食べこぼし、わずかなむせ、かめな食品が増えるなどのささいな口腔低下から始まります。早めに対応することが大切です。これらのさまざまな口の衰えは身体の衰え（フレイル）と大きく関わっています。日本歯科医師会は、「8020運動」に「オーラルフレイル」という新たな考え方を加え、健康長寿をサポートしていきます。

◆日本歯科医師会ホームページより

※栗山町地域医療協議会のご協力により、「リレー方式」で連載しています。